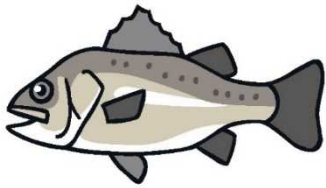


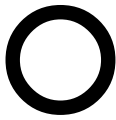
# スズキ（東京湾）



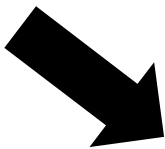
- ・ 漁獲のほとんどが東京内湾・内房海域で、中型まき網、小型機船底びき網などで漁獲される（千葉県は全国1位）。
- ・ 産卵期は10月下旬～3月上旬で、産卵場は東京湾口部にある。
- ・ 1983年から1998年まで種苗放流を実施し、以降休止。

## 資源評価

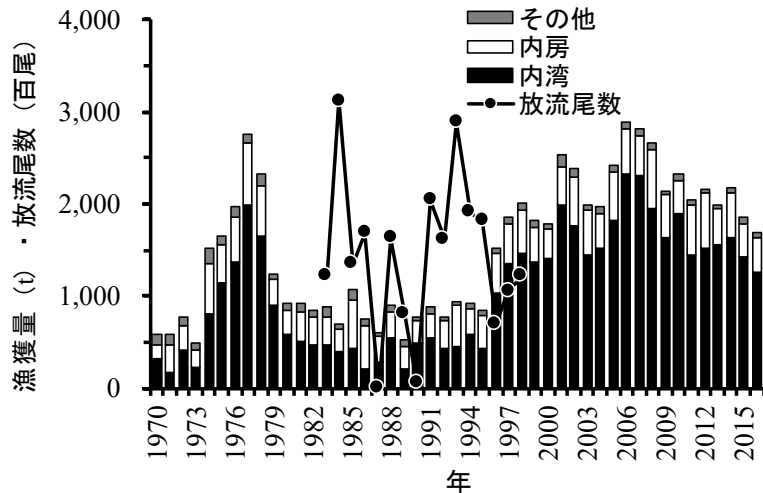
水準：中位



動向：減少



## 漁獲量



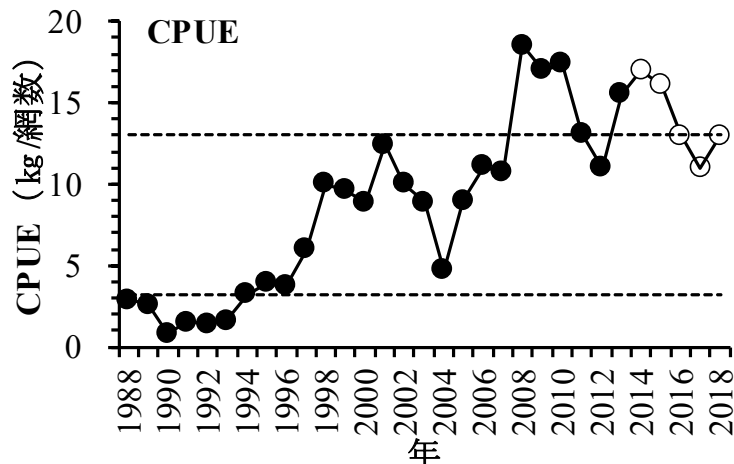
すずき類漁獲量（千葉農林水産統計年報）と放流尾数の経年変化

千葉県におけるすずき類の漁獲量は、1990年代後半に著しく増加し、近年は2,000t前後の漁獲が続いている。

注) 資源水準は、原則過去20年以上の評価指標値(CPUE)から4分位により評価した。  
資源動向は、最近5年間の評価指標の近似式から年間5%以上の増減の有無により判断した。

## 資源評価の判断

- ・ 資源水準及び動向は、小型機船底びき網の操業日誌から集計したCPUE（1網当たりの漁獲量）で判断した。
- ・ 2018年の資源水準は中位、最近5年間の資源動向は減少傾向となった。



小型機船底びき網の標本漁船によるスズキの1網当たり漁獲量 (kg/網; CPUE) の経年変化

## 資源管理の取り組み

- ・ 東京湾においては、小型機船底びき網で休漁日の設定、操業時間の制限、漁具の制限など、中型まき網で冬期の休漁期間の設定など、漁業者による自主的な資源管理が行われている。